

大道芸通信

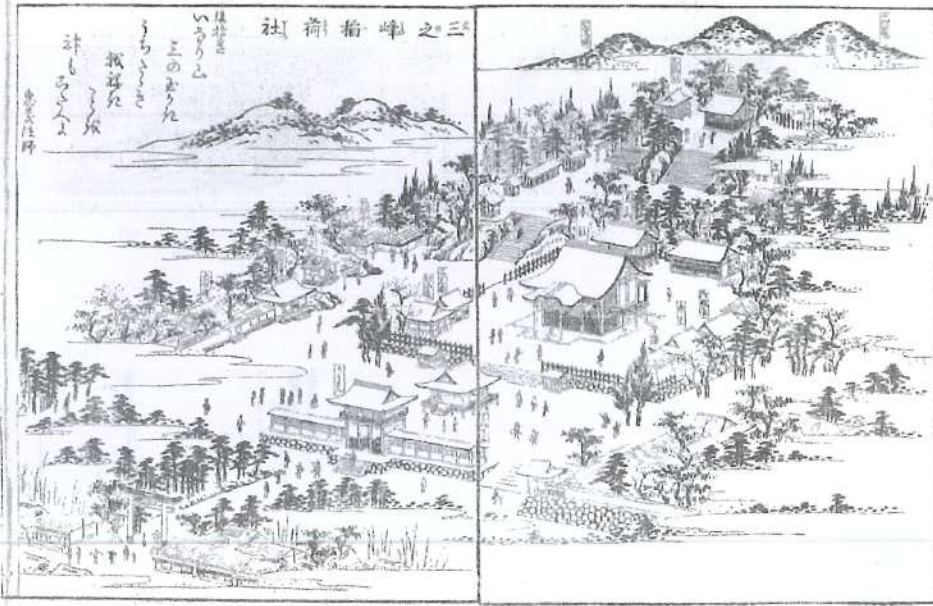
編集発行/日本大道芸・大道芸の会 光田 憲雄

(daidogeikib.biglobe.ne.jp) http:// daidogeiseesaa.net

今年 初午 二月一日(日)

二月に入つて最初の「午の日」が初午であることは誰でも知つてゐる。然しそれが初日でしかも日曜日と重なることは滅多にない。その滅多にないことが今年である。そんな初午の始まりについてはこれまで何度も書いてきたから、またかと思われる人も多いだろうが、私も含めて大抵忘れてゐる。それで改めて記す。

初午の起原は、和銅四年(七三三年)余り前のことである。一(一)というから、今から千 三百年の二月最初の初午



の日、京都の稲荷山(現在伏見稲荷)に稲荷山(現在伏見稲荷)一本を縁を切らないように見稲荷建つてゐる地)に神様に丸々食ふこと。恵方はおいなりさんの御利益?とはが降臨したという。これがその年の福を司る「歳徳神」いわないが、先鞭をつけたこと全国稲荷の総本社伏見稲荷の始まりである。途中で喋ると福とに違ひは無い。そう考へるが逃げるため、無言のまま、偉大なるかな稲荷大明神。幕末から明治に掛けて、つくとしよう

上図は『都名所図会』が載せる「伏見稲荷」(当時は「三之峰稲荷社」)後拾遺 いなり山 三の玉がき うちたたき 我ねぎことを 神もこたへよ 恵慶法師

『都名所図会』(解説本文)原文のまま)《三之峰稲荷大明神のやし猫も杓子もチョコレート》をるは 大和大路(伏見街道)の送る目になつてゐるのも、日南にあり 往昔 人皇四十本だけのようである。また三代元明帝の御宇和銅四年一ヶ月後のホワイトデーも、二月十一日午の日此山に始まりは日本だが、アジア現し給ふ 本社第一字賀のに伝搬中らしい。御魂の神 第二素戔嗚尊 第三お稲荷さんからパレンタ三大市姫(白上) 田中社四大インまで、全て二月である神此二神云々(以下略)のも面白いし、五穀豊穡も

伏見稲荷では二月十一日パレンタインもいずれも現を「初午稲荷の日」と名付世利益を願つてゐるのも共けて、毎年初午とは別に祝通してゐる。もの売れない二八月に「種族稲荷神社」になり、今「種族稲荷神社」が建つてゐる。右図は『名所別』。『恵方巻』は節分の日の朝今と考えられる。もう一つの八月は旧盆とく、狐が集まつてゐる様子現在南南東へ向かつて巻壽かさなり、お金を使われ

大晦日に関東各地から集まつた狐が、大きな木の下で装束を整え、団体で王子稲荷へお参りしたという伝説が、今「種族稲荷神社」が建つてゐる。右図は『名所別』。『恵方巻』は節分の日の朝今と考えられる。もう一つの八月は旧盆とく、狐が集まつてゐる様子現在南南東へ向かつて巻壽かさなり、お金を使われ

